

年2回(1月・7月)発行

シルバー
連合会

いしかわ

第47号

令和4年1月発行



トキ (いしかわ動物園：能美市)
写真提供：いしかわ動物園

目次

シルバー連合会いしかわ 2022. 1 第47号

年頭のご挨拶

会 長 林 充 男	1
石川県知事 谷 本 正 憲	2
石川労働局長 吉 田 研 一	2

令和3年度の主要事業（令和3年8月～12月実施分）

第1回専門委員会《Web会議》	3
石川労働局等への要請	3
普及啓発促進月間活動	4
安全パトロール	4
第2回県内各センター事務局長会議及び安全対策協議会	4
運転技能講習	5
第3回理事会	5
理事長会議	5
高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）	6
センター支援事業（連合会の独自事業）	7
全国シルバー人材センター事業協会 会長・事務局長来訪	7

シルバー人材センターだより

公益社団法人 七尾市シルバー人材センター	8
衛生委員会 掲示板	9
県内の各シルバー人材センターの活動	10～15

表紙写真の説明

トキ（いしかわ動物園：能美市）

Nipponia nippon（ニッポニア・ニッポン）という学名を持つトキは、全身白色で、翼や尾は「朱鷲色」と呼ばれるきれいな淡いピンク色をしています。繁殖期には体の上部が灰色に変わります。一度は日本において絶滅してしまいましたが、さまざまな人々の努力により数も増え、ついに本州最後の生息地であった石川県に戻ってくることができました。現在、トキは、日本国内の動物園では、いしかわ動物園でしか見ることができません。同園の「トキ里山館」には、野生に近い暮らしができるような工夫がいくつもあります。

（いしかわ動物園ホームページより抜粋）



年頭のご挨拶

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
会長 林 充 男

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当連合会の運営及び諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和2年1月に国内で初めての感染者が確認された新型コロナウイルス感染症は、社会・経済に、そしてシルバー人材センター事業にも多大な影響を及ぼしましたが、各シルバー人材センターにおかれましては、適切な対応とご努力により、事業の回復や伸長が見られており、今後も感染防止に努め、会員の安心・安全を確保しながら、更なる事業の推進と運営に取り組まれることをご期待申し上げます。

当連合会では、昨年も積極的にシルバー人材センター事業の周知・広報に努めたほか、新たな就業先の開拓のために、シルバーを紹介する動画と新たに作成したパンフレットを活用し、発注先となる企業・事業所に積極的に働きかけたところであります。

また、最も重要である事故防止をはじめとする会員の安全就業の確保について、各センターとの連携をさらに強めて取り組みました。

少子高齢社会において、生産年齢人口が減少する中、働く意欲のあるシルバー会員は、大いに期待されております。就業以外にもボランティア活動への参加、一人ひとりが生きがいを持って健康維持につながる生活を送ることで、地域社会への貢献にもつながります。

当連合会は、本年も、高齢者の活躍の場としてのシルバー人材センターを支援するとともに、今後もより事業内容の充実と向上を目指し、行政や関係機関等との連携を図りながら、積極的に事業運営を進めてまいります。

最後になりましたが、関係機関の皆様には倍旧のご指導、ご支援を賜りますよう、併せて会員皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹 賀 新 年

会 長	林	充	男	公益社団法人金沢市シルバー人材センター理事長
副 会 長	竹 田	由 喜	夫	公益社団法人白山市シルバー人材センター理事長
副 会 長	藤 谷	勝	好	公益社団法人七尾市シルバー人材センター理事長
理 事	紺	重	男	公益社団法人かほく市シルバー人材センター理事長
理 事	南	忠	治	公益社団法人能美市シルバー人材センター理事長
理 事	宮 崎		護	公益社団法人加賀市シルバー人材センター理事長
理 事	越 田	幸	宏	公益社団法人小松市シルバー人材センター理事長
理 事	宮 坂	雅	之	公益社団法人輪島市シルバー人材センター理事長
監 事	村 田	善	紀	公益社団法人津幡町シルバー人材センター理事長
監 事	浅 野		昇	公益社団法人野々市市シルバー人材センター理事長
理 事	増 田		勉	公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会事務局長
	職 員	一	同	

年頭のご挨拶



石川県知事
谷本正憲

地域経済の再生と企業の競争力強化に向けて

明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症との闘いが、一進一退を繰り返した年でした。過酷な環境のもと、昼夜を問わず、高い使命感を持って献身的に感染者の治療を行っていただいている医療従事者の方々や、県民生活に不可欠な社会インフラを支えていただいている皆様方に心より感謝を申し上げます。

本県経済は、製造業を中心に持ち直しているとされている一方、飲食業や観光関連産業は、長期間にわたる人流抑制の影響により、大変厳しい状況にあります。疲弊したこれらの産業を回復軌道に乗せるため、「Go To イート事業」や「県民旅行割」を実施し、多くの方にご利用いただいています。

さらに、企業の事業継続を下支えするとともに、前向きに取り組む企業の支援も行っているところであり、引き続き、感染状況や国の動向を注視しながら、県内企業をしっかりと後押ししてまいります。

また、本県の雇用情勢は持ち直しの動きが広がり、中には人手不足の業種もある中、先般、学生の声も踏まえ、他県にはない多彩な機能を備えたスマートフォンアプリ「いしかわ就活スマートナビ」の運用を開始したところであり、企業の皆様にも、学生向けの企業紹介などを通じて、人材確保の一助にさせていただきたいと考えています。

このような中、高齢者の方々が、その能力を十分に活かし活躍する機会を確保することは、地域社会の活力を維持するために重要であり、多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は一層重要なものとなっています。県としても、シルバー人材センターの取り組みを引き続き支援してまいります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



石川労働局長
吉田研一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、石川労働局の業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の景気動向につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつあるとされるなど、一部では明るい兆しも見えはじめているところであります。

雇用失業情勢につきましても、石川県内の有効求人倍率が全国平均を大きく上回っており、昨年11月には1.38倍まで持ち直すなど、基調判断としては、「注意を要する状態にあるものの、持ち直しの動きが広がっている。」としているところであります。

こうした中、わが国の少子高齢化は急速に進展しており、活力ある地域社会を維持していくためには、働く意欲のある高齢者がその能力を発揮できるよう、活躍の場の維持と確保することがこれまで以上に求められているところであります。

このようなことから、シルバー人材センターが果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きいものとなっており、地域における高齢者の就業の受け皿としての役割を果たすことだけでなく、地域における生きがいやコミュニケーションの場として、地域社会の活性化にも貢献することが求められております。

石川労働局におきましても、年齢に関わりなくいきいきと働ける「生涯現役社会」の構築に向け、貴シルバー人材センター連合会との連携を密にするとともに、70歳までの就業機会の確保に向け、令和3年4月から施行された改正高年齢者雇用安定法の趣旨や内容の周知・啓発、定年延長や継続雇用の導入等にかかる雇用環境の整備に関する相談・援助等の実施に努めてまいり所存であります。

末筆ではございますが、貴シルバー人材センター連合会及び会員の皆様方のますますのご健勝とより一層のご繁栄を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年度の主要事業 (令和3年8月～12月実施分)

第1回専門委員会《Web会議》

● 令和3年8月19日(木)・27日(金)〈当連合会事務局〉

連合会に設置している4つの専門委員会は、第1回委員会を、Web会議方式で開催しました。会議は、先に普及啓発・就業開拓・交流研修の各専門委員会で委員の交代があったことが報告され、続いて林充男会長があいさつを行い、その後、各委員会の委員長の議事進行により協議が行われました。

8月19日(木) 普及啓発推進専門委員会、安全・適正就業推進専門委員会
8月27日(金) 就業開拓推進専門委員会、交流研修専門委員会

【各専門委員会の審議内容】

- (1) 令和2年度事業実施状況(報告)について
- (2) 令和3年度事業推進計画について
- (3) その他



林 充男 会長



普及啓発推進専門委員会



安全・適正推進専門委員会



就業開拓推進専門委員会



交流研修専門委員会

石川労働局等への要請

● 8月25日(水)

連合会では、令和3年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づき、林充男会長、竹田由喜夫、藤勝好の両副会長、増田勉事務局長ほか、石川労働局、石川県、自由民主党石川県支部連合会、石川市長会、石川県町長会を訪問し、シルバー人材センター活動への支援要請を行いました。

石川労働局では吉田研一局長、石川県では南井浩昌商工労働部長、ほか、訪問先の皆様にご対応いただき、支援要請文の手渡しと、意見交換をさせていただきました。



林 充男 会長

吉田 研一 局長



南井 浩昌 商工労働部長

林 充男 会長

普及啓発促進月間活動

● 10月1日(金)～10月31日(日)



県内のシルバー人材センター及び当連合会では、毎年10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の期間中に普及啓発活動を実施しました。

当連合会では、入居ビル屋上から懸垂幕「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間 10月1日～10月31日」を掲示し普及啓発に努めました。

なお、例年恒例となっている、ポケットティッシュ等普及啓発用品を配布しての街頭での周知広報活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。

安全パトロール

新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていた安全パトロールを、11月に連合会職員と連合会の安全・適正就業推進専門委員会の正副委員長、そして巡回先のセンター職員により、2か所で実施しました。

今年度は、例年に比して転落事故や飛び石事故が多発していることから、剪定現場と草刈現場を重点的に巡回し、三脚や道具等の適正使用がされているか、安全防護具が使用されているか等を確認しました。

「剪定」 小松市内 11月2日(火)



三脚を、ロープでしっかり木に固定。少しの手間で、事故は防げます。

「草刈」 志賀町内 11月1日(月)



広大な現場であっても、十分な間隔を空けて作業しています。

第2回県内各センター事務局長会議及び安全対策協議会

● 11月15日(月)〈石川県女性センター〉

各種会合が、新型コロナウイルスの影響でWebによる開催が続いていましたが、感染状況が落ち着いてきたことから、今回は県内18センターの事務局長さんにお集まりいただいた開催となりました。林充男会長のあいさつの後、連合会事務局から次の項目について説明し、質疑応答を行いました。

第2回事務局長会議

- 全シ協からのシルバー人材センター事業に関する情報提供
- 労働者派遣事業について
- 周知・広報と就業開拓について
- 会員獲得・就業機会拡大等のセンターの取組事例について

安全対策協議会

- 県内シルバーの事故発生状況
- 転落事故の防止について
 - ※ 重大な事故・災害につながりやすい転落事故を減らす取り組みとして、今年度発生した事故事例を紹介し、再発防止などについて意見交換を行いました。



林 充男 会長



運転技能講習

労働者派遣事業において、スクールバスや福祉施設等の送迎など、人員輸送業務に就労している会員を対象に、事故防止対策の一環として、安全運転のスキル向上と安全意識の啓発のため、本講習を実施していますが、近年、物品輸送業務においても安全運転が強く求められる事例が散発していることを受けて、今年度は、新たに物品輸送業務の派遣会員を加えて実施しました。

10月14日の小松市会場を皮切りに、県下14会場で開催され、124名が受講しました。

講習では、自動車運転技能自動評価システム（オブジェシステム）とドライブレコーダーを搭載した車両（マイクロバス、ワゴン車）を実際に運転し、ドライバーの運転の「クセ」など、運転行動を定量的に測定し、結果はAからDまでの5段階評価となります。

その測定結果を基に、一人ひとりに診断結果の解説と運転技能の改善について、的確なアドバイスを実施しました。これにより、今後の運転業務に大いに活かされる講習となりました。



実地走行により運転データを収集
(白山市博労2丁目付近)



一人ひとりに的確な診断とアドバイス
(かほく市会場)



ドライブレコーダーの画像説明
(志賀町会場)

第3回理事会

● 12月15日(水)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつの後、次のとおり審議が行われ、承認されました。

【審議事項】

(1) 令和3年度収支補正予算について

【報告事項】

(1) 令和3年度代表理事及び職務執行理事の職務執行状況報告について

(2) 安全就業対策について

(3) 国の令和4年度シルバー人材センター関係予算について

(4) 令和3年度国委託事業（高齢者活躍人材確保育成事業）について

(5) 消費税インボイス制度について

(6) その他



林 充男 会長



理事長会議

● 12月15日(水)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつに続き、連合会から、インボイス制度への対応について説明を行いました。

続いて、連合会が事前に実施した、請負業務における担い手不足職種の現状調べ資料に基づき、項目ごとに3～4センターの理事長さんに説明をお願いし、質問にも回答いただきました。



【内容】

(1) インボイス制度への対応について

(2) 請負業務における担い手不足職種の現状、課題、今後の方策

・ 剪定 ・ 除草（手刈り） ・ 除草（機械刈り）

(3) その他

高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）

① 高齢者活躍人材確保育成連絡会議を開催

令和3年11月18日(木)、石川県地場産業振興センターにおいて、「高齢者活躍人材確保育成連絡会議」を開催しました。

連絡会議には、以下の機関・団体の方々にご出席いただき、シルバー人材センター事業の課題等について、意見交換を行いました。

(出席いただいた機関・団体)

石川県商工会連合会、石川県中小企業団体中央会、
石川県退職者連合、石川県商工労働部労働企画課、
石川労働局職業安定部職業対策課



② シニアライフセミナーの実施

人生100年時代に、シニア世代の女性が、健康で、生きがいある毎日を過ごすための一つの選択として、地域のシルバー人材センターに入会し、シルバー会員となって無理なく就業することや、シルバー内のサークル活動等を通じて親睦を図り充実した暮らしを送ることができるよう、シニア世代の女性を対象に「女性のためのシニアライフセミナー」を、次の県内3会場で開催しました。

***小松市11月5日(金) *輪島市11月9日(火) *内灘町12月8日(水)**

セミナーでは、シルバー人材センターの事業説明に続き、料理研究家の仕平幹子先生から「シニア世代の食と健康」と題して、甘酒作りなどの料理の実演をまじえた講演をしていただきました。

小松市会場でのセミナーの様子



シルバー人材センターの説明



料理の実演をまじえた講演



シルバーへの入会相談

③ シルバー人材センターの周知・広報の実施

シルバー人材センターの周知・広報として、テレビCMや新聞広告、自治体広報誌等でのシルバーの広告を実施しています。



テレビCM



新聞広告



自治体ホームページの
バナー広告

④ 就業体験の実施

就業体験は、シルバーの会員でない方やシルバー会員で職種転換を希望する方等に対し、シルバー会員、企業等の協力を得て、実際の作業等についての体験や職場見学を実施するものです。

本年12月末現在で、58人（未会員33人、職種転換希望等の会員25人）に対し、剪定、清掃、チラシ封入作業、農作業、球根植付け作業、食器洗浄等の就業体験を実施しました。このうち、未会員の体験者30人が、新規入会しました。

⑤ 各種技能講習の実施

シルバー人材センターの登録・就業対象である60歳以上のシルバー未会員の方及び職種転換等を希望するシルバー会員に対し、必要な技能講習を実施し、入会及び就業の促進をはかっています。

技能講習地域別開催状況

令和3年12月末日現在

開催地域	開催数(回)	受講者数(人)	主な講習名
石川中央地域 金沢市・白山市 野々市市・内灘町 津幡町・かほく市	8	83	刈払機、遺跡発掘 ドローン操作、剪定 掃除・整理収納、ガーデニング
南加賀地域 小松市・加賀市 能美市	5	44	掃除・整理収納、刈払機 生活支援、ラッピング 学童保育補助
能登中部地域 七尾市・羽咋市 志賀町・中能登町 宝達志水町	6	68	ドローン操作、刈払機 剪定、掃除・整理収納 生活支援
能登北部地域 輪島市・珠洲市 能登町・穴水町	6	50	ガーデニング、きのこと栽培 野菜栽培、障子張り、剪定 ドローン操作
合計	25	245	



七尾市
「生活支援講習」



小松市
「学童保育補助講習」

センター支援事業（連合会の独自事業）

各センターの要望により、会員のスキルアップ（資格取得を含む。）や就業中の事故防止対策、そして、シルバー受託事業の主力となる業務の技術向上を図るため、技能講習（センター支援講習）を実施しました。

※今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対策のため、1回あたりの受講人数を縮小して実施しました。



加賀市 「清掃講習」

センター支援講習開催状況

令和3年12月末日現在

講習名	開催回数	受講定員総数
刈払機取扱作業安全衛生教育	8回	89名
剪定講習	6回	68名
清掃講習	3回	24名
接遇講習	2回	18名
調理講習	1回	10名
計	20回	209名

全国シルバー人材センター事業協会 会長・事務局長来訪

● 10月26日(火)〈金沢市シルバー人材センター〉



連合会 全シ協
林 充男 会長 金子 順一 会長

全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）の金子順一会長と藤井礼一事務局長が、当連合会及び金沢市シルバー人材センターの運営状況等視察のため来県され、金沢市シルバー人材センターにおいて、本年6月に全シ協の理事に就任した当連合会の林充男会長（金沢市シルバー人材センター理事長）をはじめ、連合会・センター職員と、シルバー事業全般について意見交換等を行いました。

シルバー人材センターだより

公益社団法人 七尾市シルバー人材センター

七尾市は、天然の良港として栄えてきた七尾港を海の玄関口とし、古代より能登の政治・経済・文化の中心地として発展を続けてきました。また、渚のいで湯として全国的に有名な和倉温泉や、様々なリゾート施設を有する能登島をはじめ、観光資源にも非常に恵まれた、魅力あふれる市です。センターでは、本所、鹿北支所の2つの事務所で活動しています。

設立40周年記念式典 盛会裏に終わる

10月9日(土)、設立40周年記念式典を七尾市サンライフプラザにおいて執り行いました。ラジオななおのパーソナリティとして、地元七尾ではお馴染みとなっている、丸一都美さんの司会のもと、第1部では、企業への感謝状贈呈、会員表彰、役員表彰、職員表彰、特別表彰が行われました。第2部ではアトラクションとして、英桃太郎、岬ゆたか(地元七尾の有名歌手)、ぶんぶんボウル、落語家の月亭方気、劇団晴れるやさんの出演で、会場を盛り上げていただきました。



【リサイクル事業】環境分野での地域貢献

不用品の一般廃棄物収集運搬業を行う一方、家庭で眠っている不用品で、まだ使えるものは「もったいない」の精神から、リサイクル品として、希望者に安価で販売するリサイクル事業も行っています。市内空き店舗を活用してリサイクルショップを運営することで、商店街の活性化に貢献しています。

店舗では、手作り農産物、手作り品(服、帽子)、こだわり味噌(独自事業)の製造販売を行うほか、サークル活動(詩吟、リフォーム)の場としても利用しています。大きなイベントとして、ふれあい市を毎月第2日曜日に開催しています。



【門松制作】風習・技能の伝承

門松は、その年の神様をお招きする目印であり、神様がお降りになったときに宿られる場所として家の玄関などで飾られる大変縁起の良い飾りとされています。

門松作りは、毎年11月からベテランの会員さんが中心になって作業を始め、できあがった製品は和倉温泉の旅館や神社、会社関係等に納品しています。ミニ門松は商店街や一般家庭などで好評です。洋風門松、ミニミニ飾りなど新しい商品の開発も随時行っています。そのほか、お正月用品として、輪飾り、しめ縄、ほうらい(毛筆・切絵)、仏花、柿も販売しています。



衛生委員会 掲示板

牛乳について その1

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 産業医 井上 一彦



皆様 御変わりなく御元気で御活躍のことと存じます。

第46号で、牛乳は栄養的に優れているだけでなく、家畜肉に比べて圧倒的に低い飼料コストで動物性蛋白を産生できると書きました。飼料と食品の含有窒素を計測した研究で、等量の飼料を牛乳生産に用いると、牛肉生産に用いた場合の5倍の蛋白質が得られるとの報告もあります。現代社会では、流通コストの所為で牛乳の経済性が見え難くなっていますが、家畜と暮らしていた人々にとっては、屠畜と解体が必要な畜肉生産と日々の分泌物を利用する酪農との生産コスト差はとて大きなものだったと思います。

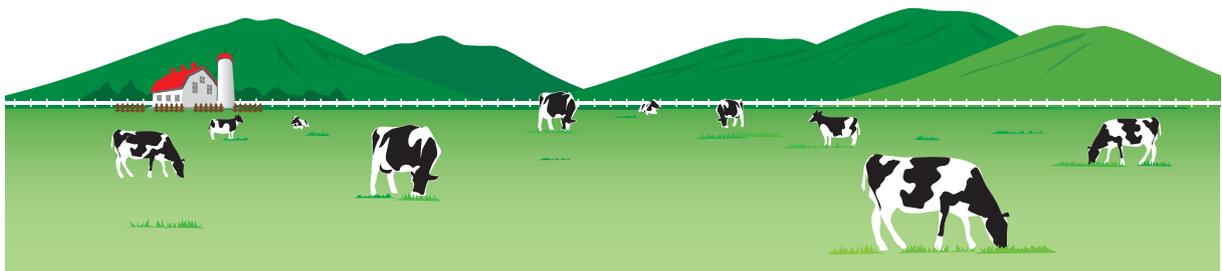
有用な食料である牛乳をはじめとする畜乳と人類が如何に関わってきたかを振り返ってみましょう。

現在迄の考古学的知見によれば、旧石器時代の終わり(約14000年前)、中東に定住的集落が出現し栽培農業や囲い込み猟が始まりましたが、8000~9000年前には、山羊と羊に続いて豚と牛が家畜化されたようです。牛や山羊は、反芻胃によって人間が消化できない植物をも栄養として乳を分泌します。この乳を搾取する酪農は、先に山羊で始まり、やがて牛が重きをなしたとされてきましたが、2008年にトルコ北西部で発掘された、約8500年前の陶器に附着した牛の乳脂肪分化石が報告されており、酪農の開始年代は更に遡る可能性もあります。多くの遺跡の所見から、人類は畜乳を発酵させてチーズの様な形で食べていたとされています。長期保存を可能にする為と考えられますが、後に詳しく述べる乳糖不耐症に対応した摂取方法だったとすれば、真に興味深いことです。

酪農の伝播は速く、約8000年前には現在のインド、約6000年前には北欧まで広まった様です。なぜ東アジアに伝播しなかったかという点も興味深いのですが、稲作に適した気候と土壌で人力を集中投入していた灌漑農耕では、鋤を引かせる牛の必要性が低く、良好な牧草地のない環境で人間が食べられる物を飼料として育てる余裕が無かった為と考えられます。

耕作地の近傍で放牧を行っていた定住民の中から、複数の牧草地を季節に応じて移動し続ける人々(遊牧民)が現れます。多くの家畜を有する集団は、十分な牧草地を確保する為に広大な草原を支配する必要がありました。食肉用として約6000年前に家畜化された馬は、放牧時の乗用にもなりましたが、騎乗に慣れた遊牧民は、騎兵集団の機動性と突撃による打撃力を征服戦争で活用しました。大軍の移動と補給は近世になっても難事でしたが、騎馬遊牧民にとっては日常の延長だったかも知れません。最初の遊牧民国家は、約3000年前に形成され、最後のものは266年前に滅亡しましたが、定住的農耕民の国家を滅亡させたものも多く知られています。

今回も御読み頂きまして誠に有難うございました。



県内の各シルバー人材センターの活動

県内各地域18のシルバー人材センターの活動を紹介します。

10月の「普及啓発促進月間」に各センターが実施した、ボランティア活動や街頭での普及啓発活動の様子のほか、独自事業、地域との交流を深める各種事業等の報告です。

① 公益社団法人珠洲市シルバー人材センター

★普及啓発活動の実施

10月16日(土)のシルバーの日に、公共施設・宿泊施設の3か所と、市内(大谷地区)で、会員による除草や清掃、空き缶拾いなどを行い、10月25日(月)には、珠洲市役所前の剪定・雪吊りの奉仕活動を行いました。



★手作りマスク寄贈

独自事業の手芸サークル「万年青の会」より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため珠洲市社会福祉協議会へ手作りマスクを寄贈しました。



② 公益社団法人輪島市シルバー人材センター

★白米千枚田の奉仕活動

世界農業遺産の象徴とも言える白米千枚田の田植え(5月)と稲刈り(9月)に毎年参加しています。今年はコロナ禍にもかかわらず、都会のオーナー会員や学生の参加者が目立ち、作業の方も順調に進みました。



★公共施設草刈り奉仕活動

10月の普及啓発促進月間活動として、多くの会員が参加して、駅前ふらっと訪夢、公民館、保育所等の市内8か所の公共施設草刈り奉仕活動を実施しました。



③ 公益社団法人能登町シルバー人材センター

★普及啓発活動の実施

10月30日(土)に、町内のホームセンター前にて、理事長はじめ役員によるチラシやポケットティッシュ等の配布を行い、町民にシルバーの活動内容を広く理解していただき、就業機会の拡大や会員拡大につながるよう声掛けを行いました。



ドローンでパトロール中

★独自事業

【ドローンによる盗難防止パトロール】

顧客より、松茸の盗難被害を防ぐ方法はないかとご相談をいただき、ドローンによる山のパトロールを実施しています。頭上でドローンが旋回するから盗難防止効果が得られているとの声をいただいております。

今後は、ドローン操縦のコツなどを学ぶ、初心者向けのドローン操縦ワークショップを開催していく予定です。

★パソコントラブル110番

パソコンが起動しない、インターネットの速度が遅い、HDDからSSDに変換、ZOOMの使い方等、パソコンのトラブルや疑問を解決する救急隊を結成し、受注開始する予定で現在準備中です。

④ 公益社団法人穴水町シルバー人材センター

★剪定技能講習会

剪定作業員の後継者育成のため、10月20日(水) 21日(木) の2日間、剪定技能講習を開催しました。受講者は、講師の先生の指導のもと興味深げに取り組みました。また、初めて女性会員が2名参加しました。今後は就業につなげていく予定です。



★手芸作品等の販売

昨年度まで独自事業で経営をしていた手打ち蕎麦屋の「そば処大仏庵」の一角をお借りし、会員さんの手作り手芸品(干支のキーホルダーやクラフトテープで作ったバッグやレースの敷物等)の販売をしております。お蕎麦を食べに来たお客さんのお土産にと喜ばれています。

⑤ 公益社団法人志賀町シルバー人材センター

★樹木剪定に係る班長会議

梯子(はしご)からの転落骨折事故が8月に2件発生し、コロナ禍において今年度初めて会員を中心とした剪定班長会議を10月14日(木)に開催しました。当日は、11名の剪定作業など脚立・梯子・三脚を使用する班長が集まり、重篤事故事例や就業現場写真を元に安全対策の会議研修をしました。また、京都府シルバー人材センター連合会から頂いた安全就業啓発DVDを上映し、安全带、可搬式作業台、転落防止マットの使用購入についてなどの意見交換をしました。一向に減らないハチ刺されやガラス割れ事故などが発生しないように、今後も会員への啓発活動を続けていきます。

★合同パトロール

11月1日(月)に、連合会パトロールが当センターで行われました。当センターは事故発生件数が非常に多く、会員への安全就業対策に重点を置いて指導してきましたが、なかなか就業事故が減りません。当日は、連合会から3名、当センターから2名の計5名で草刈現場と剪定現場をパトロールしました。普段見ない顔ぶれの連合会の方々が交じりパトロールすることで、当センター会員の安全意識向上につながったのではと思います。



⑥ 公益社団法人七尾市シルバー人材センター

★設立40周年記念式典開催

10月9日(土)、“設立40周年記念式典”を盛会裏に執り行うことができました。

1年前より事業委員会を立ち上げ、委員と職員一同で話し合いやリハーサルを重ね、念入りに準備を進めてまいりました。コロナ禍での開催で、ご来場の皆様にはマスク着用・検温・消毒等感染症対策に協力していただきました。

今日まで当センターを利用し、支えてくださった企業や市民の皆様方、ご来場いただいた皆様、準備等式典に携わって下さった皆様の温かいお心で、おかげさまで開催の成功を得ることができました。



★ラジオななおで、センター広報番組スタート

“設立40周年記念事業”の一環として、令和3年7月から、ラジオななおの毎週火曜日「もしもし探検隊」番組内の“シルバーで仕事も、仲間も、健康も!”というコーナーに、11:30より10分程度出演しています。10月9日に開催した“設立40周年記念式典”のアピールをはじめ、センターへの入会案内や、毎月第2日曜日開催の“ふれあい市”のお知らせや呼び込みなどを行いました。リスナーさんからのメッセージが届いたり、会員さんからの声かけをいただいたりと、沢山反響がありました。今後も皆さんに興味を持っていただけるような放送で、センターのアピールを目指したいです。



⑦ 公益社団法人中能登町シルバー人材センター

★商業施設で普及啓発活動

10月16日(土)、普及啓発促進月間における推進活動として、当センターのイメージの転換・向上、会員拡大及び就業機会の拡大に向けて、「アルプラザ鹿島」並びに「織姫の里道の駅」において当センターのPR活動を実施しました。

このPR活動の後、10名の新規入会者があり、活動の成果を得ることができました。



⑧ 公益社団法人羽咋市シルバー人材センター

★ボランティア美化活動

10月1日(金)、普及啓発促進月間にあわせ、ボランティア除草作業を実施しました。昨年に引き続き、シルバーeco農園の野菜を出荷している「道の駅のと千里浜」の敷地内を除草しました。会員・職員合わせて53名が参加し、早朝から汗を流しました。作業中は「会員募集中」ののぼりを立て、シルバー人材センターのPRをしました。



★独自事業【eco農園班の活動 ～トウモロコシ収穫～】

7月初旬、シルバーeco農園のハウスでトウモロコシの収穫を行いました。夏場の暑いハウスの中での作業は本当に大変ですが、会員が愛情を込めて育てたトウモロコシは甘くて美味しいと毎年大好評です。収穫したては生でも美味しく食べられるほどです！「道の駅のと千里浜」や「JAグリーン」、当センターで販売しました。

⑨ 公益社団法人宝達志水町シルバー人材センター

★エアリーフローラ栽培

昨年度は、エアリーフローラの品評会においてピンク色が優秀賞を頂き、今年度もがんばるぞとみんな意気込んでいます。栽培の種類も2種類から4種類に増え、また同時に、来年度用の球根を育てる事にもチャレンジすることとなりました。栽培会員も16名となり、「綺麗な花を咲かそう」をテーマに、12月からの出荷に向け35,800個の球根を丹精込めて育てています。



★ボランティア活動

「特別養護老人ホームちどり園」の敷地内及び隣接する公園の剪定・除草作業を、10月22日(金)に会員26名で行い、施設長や入園者からはお礼の言葉を頂きました。



★教養教室開催

仕事をするばかりではなく、いろんな教室や娯楽にも参加できることも必要と思い「相続対策について」のセミナーを開催しました。相続税の基準や手続を中心に講義があり、10名の参加者からは、普段聞けないような話で“勉強になったわ”と喜んでいただけました。

⑩ 公益社団法人かほく市シルバー人材センター

★農作物栽培

当センターでは、平成30年度より、市内の遊休地や耕作放棄された畑を借りて、ぶどう(デラウエア)や玉ねぎ、さつまいも、長いもなどの野菜の栽培を会員さんの参加により講習会を行いました。現在は3か所の畑で独自事業として実施しており、会員の皆さんへ、毎月発行の「会員だより」に載せて販売を行っています。



11月16日(火)に、玉ねぎの苗植えと長いもの収穫を、重機も使い12名の会員の皆さんが参加して行いました。



★ボランティア清掃

11月18日(木)、かほく市七塚中央公園でシルバー会員28名と役職員が参加して、主に落ち葉拾いを実施しました。

当日は天候にも恵まれ、会員さんたちは和やかな雰囲気の中で、竹ぼうきや熊手、てみを使って作業を進め、軽ダンプ6台分の落ち葉を集め、園内の美化に汗を流しました。

⑪ 公益社団法人津幡町シルバー人材センター

★ガーデニング講習会

会員でない方の入会促進や、既存会員でも業種転換を希望する方の技能習得のため、連合会が主催するガーデニング講習会が、10月21日(木)にサンライフ津幡で開催され、会員6名と未会員4名が参加して寄せ植えやハンギングバスケットの技術を学びました。



参加者は、講師による実践的な指導に触れたことで興味をもち、今後の就業につながることとなりそうです。



★交通安全講習会

日没が早まり、交通事故の危険が高まる11月12日(金)に、「交通安全講習会」が開催され会員31名が受講しました。

津幡警察署の宮下交通課長の交通安全講話のあと、シミュレーターを利用した運転疑似体験を通して、人や車の飛び出しの危険性を学び、皆さん安全運転への意識を新たにいただきました。

⑫ 公益社団法人内灘町シルバー人材センター

★会員ポイントカード

今年度は、コロナウイルスの影響もあり、普及啓発促進月間中の活動を自粛しました。

そのような中で、4月から、会員へポイントカードを配布し、シルバーの講習会やボランティア活動への参加、新規会員紹介並びに新規顧客紹介等を行った場合にポイントを付与し、積極的にシルバー事業へ参加することで、楽しくポイントをためて、500円引換券と交換できるシステムを始めました。

★いろいろなお仕事

エアコンクリーニングやブレハブ小屋の解体等、ちょっと変わったお仕事もさせていただいております。ご用命があれば、いつでも伺います。

「新鮮野菜市」も11月第3火曜日(月1回)から再開できるように動き出しましたので、是非、お越しください。お待ちしております。



⑬ 公益社団法人金沢市シルバー人材センター

★花の寄せ植え教室

会員拡大や女性会員の親睦を目的に「花の寄せ植え教室」を企画し、一般市民対象を1回、女性会員対象を2回の計3回開催しました。全3回とも即日予約がいっぱいとなる好評ぶり、参加者は皆色とりどりの花を選び、とても楽しそうに寄せ植えしていました。完成したものを見せ合い、談笑する様子がとても印象的でした。



★パソコン教室

令和2年度より此花教室から二口教室へ移転し、1年が経ちました。現在、会員8名が講師となり、パソコン講座やスマホ講座を、年齢を問わず幅広い年代の方に受講していただいております。さらに、今年度は野町公民館にて「スマホ出前講座」を初めて開催しました。「親切で何回も丁寧に」をモットーに、デジタル社会に対応した講座を今後も開催していきたいと思っております。

⑭ 公益社団法人野々市市シルバー人材センター

★ちよっこしマーケット開催

7月21日(水)、昨年度に引き続き、野菜班による「ちよっこしマーケット」が行われました。昨年は、開催時期が遅かったため、若干野菜も少なめでしたが、今年は冬の間から計画を練っていたようで、たまねぎ、ナス、ニラなどたくさんの野菜が並びました。

また、野菜のほかに、手芸班の手作り作品も販売し、夏の帽子やコースター、袋小物などが人気となっていました。2回目の開催でしたが、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。



★夏休み学習応援・おもしろ教室

7月26日(月)から8月5日(木)にかけて、市内5校で「夏休み学習応援・おもしろ教室」が行われました。今年度は、コロナウイルス感染症予防のため、各校3日間ずつ行われ、200人が参加しました。また、先生も新たに6名が加わって総勢18名となり、サポート体制も強化しました。参加した児童からは、理科の実験をはじめ、国語や算数も「学校では習わない内容で面白かった」「ほかの教科や中学校でも開催して欲しい」保護者からは、「楽しかったと帰って来た」「コロナで行動が制限されているため、夏休みの思い出になって良かった」との感想がありました。

⑮ 公益社団法人白山市シルバー人材センター

★ボランティア活動の実施

9月28日(火)、29日(水)に、こがね荘にて約50名の参加のもと清掃ボランティア(除草、剪定)を行いました。

例年であれば普及啓発促進月間に行っている行事ですが、今回は、会員に加え10月に同施設に開所した聴覚障害者・地域活動支援センター「あさがおハウス」の方も参加しました。



★ゆび編み教室の開催

令和2年度から、女性会員の拡大と健康対策として開催しています。今年度は、支所ごとでも開催しており、たくさんの女性会員に参加をいただきました。この教室で作製したアクリルエコたわしは、市内小学校等に寄付を予定しており、この教室を機に女性会員の輪を広げ、会員の拡大につなげていければと思います。

⑩ 公益社団法人能美市シルバー人材センター

★感謝祭

日頃のご愛顧に感謝して、11月21日(日)に独自事業で生産している加賀丸いも、国造ゆずや野菜類、家庭菜園で会員が丹精した野菜などを持ち寄り、市屋内競技施設「すぱーく寺井」において、恒例の「感謝祭」を開催しました。昨年はコロナ禍でやむなく感謝祭そのものを中止しましたが、今年は、例年行っていた、



丸いも入り豚汁鍋・

餅を会場内休憩コーナーで味わっていただくことは休止し、検温・消毒等の対策にも十分配慮した中で実施し、好天にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。

とれたてで安価な農産物や花苗が人気で、お餅つきでは子供たちに杵を振るう体験もしてもらい、保護者の皆さんがシャッターチャンスを見逃さず撮影し、出来上がったつきたて餅を持ち帰ってもらうことができました。

⑪ 公益社団法人小松市シルバー人材センター

★会員互助会「フードドライブ」実施

会員互助会が会員に呼び掛けて集めた賞味期限は切れていないが忘れられている「もったいない食品」を、12月21日(火)にNPO法人「あったらモン」に寄付いたしました。



★正月用しめ飾りの販売

独自事業で取り組んでいる正月用しめ飾りを今年も販売いたしました。7月に青田刈りしたもち藁を5日間天日干しし、8月より心を込めて丁寧に仕上げたしめ飾りは、お陰様で購入された方々から大変好評でした。

⑫ 公益社団法人加賀市シルバー人材センター

★2021シルバー元気回復秋まつり

シルバー人材センターの普及啓発及びコロナ禍で萎縮・自粛している会員さんと地域の皆さまの元気回復を図ることを目的に、11月13日(土)、かが交流プラザさくらにおいて、コロナ感染防止対策を工夫しながら、シルバー元気回復秋まつりを開催しました。

当日は、天候も大崩れせず、毎週土曜日開催の野菜等の元気市に加え、橋立港産カニや、つき立ての餅に、レストランさくらの4種類ワンコイン弁当販売など、元気回復を願う品揃えも大いに喜んでいただき、大変盛況のうちに無事終了いたしました。初めてのウォーキングも好評でした。



シルバー人材センターの周知・広報のための
総合パンフレットを新たに作成しました。

(令和3年10月)

(パンフレット表紙)



笑顔でいきいき

シルバー人材センターで
無理なく働いてみませんか!

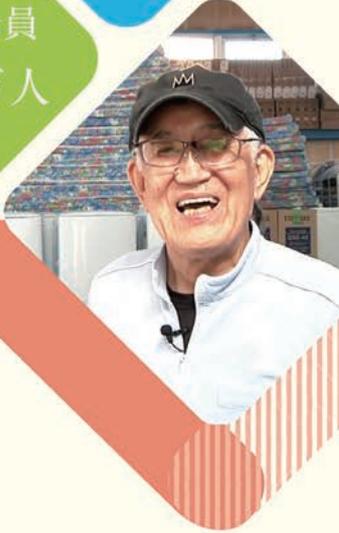
平均年齢
73歳

登録会員
約1万人

シニア(60歳以上)の皆様

人生100年

人生100年時代
あなたもシルバー人材センターで働き
健康で充実した生活をおくりませんか



公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳齊1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <https://ishikawa-silver.com>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからもご覧いただけます。

